

令和7年度 学校経営方針

目黒区立烏森小学校 校長 丸山 智子

烏森小学校 教育目標 ○は重点目標

- ◎心ゆたかで思いやりのある子 【徳】
- よく考えて進んで行動する子 【知】
- からだも心もじょうぶな子 【体】

校訓「至誠日新」(しせいにつしん)

「どんなことにもまじめに取り組み、毎日、自分を新しく成長させよう」

令和7年度 目指す学校像

- 一人ひとりの子どもが大切にされ、子どもが自分の成長を実感できる学校
- 安全に 安心して過ごせる学校
- [わかる・できる]を実感できる学校
- 居場所がある ふれあいがある学校



令和7年度の学校経営の重点

◎落ち着いた秩序のある学校生活を定着させ、明日が待ち遠しいと思える学校づくりを推進する。

- 勉強が分かる、できる、活躍の場があり、自分の成長や変容を実感できる学校
- 友達や学級の仲間と過ごすことが楽しい、互いに認め合える支持的風土のある学校
- 自分の居場所があり、安心して過ごせる、いじめを絶対に許さない風土のある学校

◎40分授業・午前5時間制を生かし、学ぶ楽しさ、喜びを実感し、自ら学びへと向かう子どもを育成する。

- わかる・できる40分の授業づくりのさらなる追究及び子どもが主語となる複線型の授業の推進
- 週2回の学習タイムを「自己調整学習の時間」として活用し、子どもが学び方を習得したり、自己の学習課題を探究し解決したりする力を育成する。

学校経営方針の【3つの柱】 重点目標「心ゆたかで思いやりのある子」

心ゆたかで思いやりのある子

「自分も大事 みんなも大事
楽しく安心して過ごすために」

○生活指導の重点目標

- ・すすんであいさつをしよう
- ・時間を守って行動しよう
- ・人の話をきちんと聞こう
- いじめ、不登校を未然に防ぐ学校づくり
- 思いやりの心を育む異学年交流活動
- 子どもたち自身で実行していく力を育む特別活動

よく考えて進んで行動する子

「わかるように できるように 深まるように」

- 40分授業で「わかる・できる」「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- 学習用情報端末を活用して、子どもが主語となる複線型の授業を推進する。
- 自己調整の力をつける学習タイムで学びの自立を目指す。
- 体験や活動を通して、主体性・自主性を育む。

からだも心もじょうぶな子

「明るく 楽しく 元気よく」

- やりぬく、がんばりぬく心とからだ
- 基礎体力の向上、持続できる心の強さ、しなやかさ
- 自ら健康づくりを実践できる子ども
- 体調管理や予防への意識を高め、感染症等から自分を守る。
- 自ら将来への希望をつなげる子ども
- 自尊感情、自己肯定感の醸成

教育目標の実現を支える【2つの視点】

安全・安心の視点

- 自分の命は自分で守る意識を高める
 - ・安全指導 ・避難訓練
 - ・生命(いのち)の安全教育
- 交通安全教室、セーフティ教室、情報モラル教育
- 事故防止のための安全点検の確実な実施
- 安全な学校給食の提供、食物アレルギー対応

連携の視点

- 保護者との連携→ 個人面談、保護者会、保護者連絡システムの活用
- 小・中連携→ 合同引き渡し訓練他
- 幼・保・小連携→ 小学校訪問と交流
- 地域との連携→ 住区まつりキラキラワールド
- 特別支援教室「ひまわりルーム」との連携